

2023年度の事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

NPO 法人 Sharing Caring Culture

1 事業の成果

■外国人の子育て支援事業：外国籍家族の子育て情報支援ほか、多文化親子交流、公園遊びの機会を提供

外国出身者と日本人保育士をファシリテーターとした多文化親子交流会を年間14回開催。平日の開催であったが、外国出身の母親だけでなく、父親の参加も見られた。特に日本の行事や童謡などを子どもに伝えることが難しい外国籍の家族向けに日本文化に関するパネルシアターや読み聞かせを英語とやさしい日本語で実施し、お正月、節分、ひな祭り、七夕など季節の行事をテーマに親子で日本文化に親しむ機会をつくった。また、今年度も都筑区子育て支援拠点ポポラと共催で英語とやさしい日本語による防災やAEDについて学ぶ講習会を実施。他にも地域の外国出身者が足を運びやすくなる子育て拠点の場づくりとして、世界の文化を伝える「チルコロ・カルチャー」を開催。当法人のエクアドル出身のメンバーが民族衣装の展示に協力するほか、展示期間中には、エクアドル・ダンスのワークショップや自然豊かなガラバゴス島に生息する動物を紹介するギャラリートークを開催した。

■子どもの育成支援事業：子ども多文化交流事業

今年度は、東急子ども応援プログラムより助成をいただき、年間15回の子ども多文化交流事業を実施。外国出身者20名が文化大使を務めた。多国籍親子クッキングでは、粉からうどんを作り、タイのグリーンカレーにつけて食べるなど、フランス、ウクライナ、タイ、シンガポール、日本と多様な文化を持った親子とともにフュージョン料理を楽しんだ。インターナショナル持ち寄りパーティーでは、14カ国の持ち寄り料理を味わったほか、日本の書道や折り紙、インドのボリウッドダンスを大人から子どもまで楽しんだ。世界の文化を旅する My Country Day では、文化大使3名が母国の行事や文化を紹介。「世界の遊び」、「祭り」、「クラフト」のテーマのほか、夏休み中に「世界のおばけ」というテーマで子どもたちがおばけ屋敷をつくる企画も実施。10月には恒例のハロウィンイベントを開催。青葉区の学習塾の大学生、中高生がサポーターとして協力。多言語おはなし会では、ブータン、ラトビア、ナイジェリア、ベトナム、ネパール、コスタ・リカ、マレーシア、インドネシアなど、現地の絵本を読んで各国のゲームを楽しんだ。

■多文化共生協働事業：図書館、大学はじめ多様な主体との協働事業の増加

2017年以来、定期的に横浜市青葉区山内図書館で英語のおはなし会を開催。加えて、東京都品川区立大井図書館、南大井図書館、中野区立中野東図書館、中野南台図書館の4館から昨年に続き依頼をいただいた。継続して参加する子どもの姿も見られ、都内での図書館事業が定着した。また、東洋大学子ども支援学科の学生で保育士教諭を目指す学生向けに外国人の子育てについて大学での講話を担当。当法人の外国人メンバー2名と代表理事の三坂が外国籍家族の日本での子育ての実態について話をした。さらに早稲田大学創造理工学部の留学生を対象とした SHIP プログラムにも協力。当法人の外国人メンバー2名が外国人在住者の困りごとを共有し、テクノロジーの力で課題解決につながるアイデアを学生が発表した。10月1日には、都筑マイプラザ、都筑区子育て支援拠点ポポラと当法人の3団体が協働で地域のダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンを促進するイベントとして、DE&I フェスティバルをノースポートモールで開催。来場者は1,800人で外国人だけでなく、障がいのある人とも接点を持つ機会となった。

■活動10周年バースデーネーションキャンペーンの実施、支援者64名から348,469円のご寄附を受領

当団体は2014年に任意団体として活動を始め、2024年2月に活動10周年を迎えた。1月22日から約1ヶ月バースデーネーションの寄付キャンペーンを実施し、集めた寄付によって横浜市の図書館での外国語のおはなし会を企画することを目標に掲げたところ、県内外を問わず64名の方からご支援をいただいた。今回のご寄附によって、2024年度に都筑区、港北区、神奈川区の図書館でおはなし会の実施が決まり、地域の公的な施設を舞台に外国出身者が活躍する場をつくるとともに、広く子どもたちの多文化理解を促す取り組みを展開していきたい。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 異文化交流事業

ア 外国籍の子育て支援事業

・内 容

パルシステム神奈川による助成事業(2023年4月～12月)として外国出身のファシリテーターと育児休暇中の日本人保育士が英語とやさしい日本語で進行する多文化親子交流会を開催。日本の行事や童謡を知らない外国人の保護者向けに日本文化を中心に紹介。パネルシアターなど、外国人親子が参加しやすい活動を行なった。また、都筑区子育て支援拠点ポポラとの共催により、外国人家族向けに多文化おしゃべり会や外国出身者による母国の文化展示及びトーク(チルコロギャラリー)を実施。都筑消防署の協力により、AED講習会を英語通訳つきで実施。

・実施日時 親子交流会 年間14回 / 多文化おしゃべり会(共催)年間3回①防災②おりがみで遊ぼう③AED講習 / チルコロギャラリー、ギャラリートーク 年間2回 (エクアドルダンス、エクアドルの自然)

・実施場所 主に横浜市青葉区(アートフォーラムあざみ野子どもの部屋、山内地区センター、たまプラーザ地域ケアプラザ)、都筑区(子育て支援拠点ポポラ、ポポラサテライト、都筑マイプラザ)

・従事者数 5人

・受益対象者 未就学児を育てている外国籍の親子及び日本人親子 のべ親子248人参加

・支 出 103,118円



↑おやこ交流会 おみこしづくり



↑エクアドル・ダンスのワークショップ



↑英語とやさしい日本語での防災ワークショップ



↑小児救急 AED の講習会

イ 子どもの育成支援事業

・内 容

東急子ども応援プログラムの助成金により、子どもの多文化理解を促進する事業として、多言語おはなし会、多国籍クッキング、世界の文化を伝える My Country Day を実施。外国出身者20名が講師となり、子どもたちが多文化にふれる機会をつくった。世界の持ち寄りポットラックパーティーには14カ国の家族が74名集まり、各国の家庭料理を楽しんだ。また、青葉区のキッズタウンイベントで当団体は、キッズタウン内の国際交流センターを担当。インターナショナルマルシェを出店するほか、子どもたちが民族衣装を着て写真が撮れるブースを設けた。

- ・実施日時 年間15回
- ・実施場所 主に横浜市都筑区（都筑中央公園、かけはし都筑、ノースポートモール、港北みなも、都筑マイプラザ、JA はまっこクッキングスタジオ、）青葉区（美しが丘地区センター、山内地区センター、山内図書館、美しが丘公園）
- ・従事者数 9人
- ・受益対象者 外国籍の親子及び日本人親子 のべ親子 467人参加
- ・支出 884,573円



↑ インターナショナルポットラックパーティー

↑ 多言語おはなし会（ナイジェリア、インドネシア、ネパール）

(2) 地域の多様な主体が連携・協働する多文化共生促進事業

ア 外国籍住民による子育て情報冊子 OYACO(おやこ)制作事業

・内容

2023年度より、当団体が出版する子育て情報冊子 OYACO をホームページから PDF にてダウンロードができるようにし、二次元コードを掲載したチラシを作成。冊子の印刷費のコスト削減とペーパーレスを図るため、A4サイズのチラシに変更し、都筑区の外国人在住者向け情報支援ウェルカムキットに同封した。

・実施日時 通年

・実施場所 主に横浜市青葉区、都筑区、緑区、港北区のこども家庭支援課窓口、戸籍課窓口、子育て支援拠点、国際交流ラウンジ及びラウンジ内の日本語教室

・従事者数 4人

・受益対象者 未就学児を育てている外国籍の親子及び日本人親子

・支出 142,823円



↑ 都筑区の外国人在住者向け情報支援ウェルカムキットに子育て情報冊子 OYACO（おやこ）のチラシを同封

イ 多文化共生協働事業

・内 容

今年度は、外国出身者を講師とした図書館での英語の読み聞かせや神奈川県立地球市民プラザより子ども向けの異文化交流企画運営の依頼のほか、昨年に続き、保育士や幼稚園教諭を目指す大学生向けに外国出身のメンバーが日本での子育てについて講話をする機会を東洋大学ライフデザイン学部よりいただいた。また、今年度も横浜市民ギャラリーあざみ野が通年で開催する親子のフリーゾーンのイベントを外国人親子向けに開催し、通訳翻訳はじめ、広報や募集のサポートを行った。

・実施日時 年間16回

・実施場所 神奈川県立地球市民プラザ（あーすプラザ）、山内図書館（横浜市青葉区）、都筑区多文化・青少年交流プラザ（都筑マイプラザ）、ノースポートモール、認定NPO法人地球学校、子育て支援拠点ポポラ、ポポラサテライト（横浜市都筑区）、中野東図書館（東京都中野区）、大井図書館（東京都品川区）、南大井図書館（東京都品川区）、横浜市民ギャラリーあざみ野（横浜市青葉区）、東洋大学ライフデザイン学部（東洋大学赤羽キャンパス）、横浜国際プール、南台図書館（東京都中野区）、中川西地区センター

・従事者数 22人

・受益対象者 市内、県内外の児童、一般市民など のべ1,915人
行政、NPO、図書館、大学など のべ14団体

・支 出 330,389円



↑DE&I フェスティバルで6カ国のマルシェを開催



↑中野区中野東図書館 ハロウィーンのおはなし会

ウ コミュニティ活性化事業（外国出身者による自主事業）

・内 容 外国出身のメンバーが自分の好きなことや得意なことを活かして、コミュニティを活性化する場づくりに取り組んだ。手芸好きなインド出身のメンバーは簡単な物づくりを通して、特に子育て中の母親が自分時間を持ち、自宅では取り組みにくい手芸の時間を楽しむ会を催した。また、英語講師経験のあるマレーシアのメンバーは、夏休みに幼児、小学生向けの英語のプログラムを実施したほか、ズンバダンスの講師資格を持ったエクアドルメンバーは、教えるのではなく、好きなことを通してみんなで楽しみたいという動機からズンバサークルをスタート。いずれも当事者主体の企画で、参加者の顔ぶれが多国籍だった。

・実施日時 通年

・実施場所 都筑マイプラザ、山内地区センター、アートフォーラムあざみ野、中川西地区センター、かけはし都筑

・従事者数 4人

・受益対象者 一般市民

・支 出 58,718円



↑エクアドル出身者によるズンバサークル



↑インド出身者によるクラフトの会

エ ヘルプデスク事業

・内 容

日本語学習歴がない来日したばかりの外国籍家族を対象に通訳翻訳サポートサービスを開始。今年度、LUSH ジャパンのご提案で5月と6月にLUSH 横浜ジョイナス店、横浜東口店の2店舗で母の日、父の日キャンペーン(各1週間)を実施。チャリティポットの売り上げ194,232円のご寄附をいただいた。そのご寄附を10月以降、通訳翻訳者への同行及び通訳費用として使用。

- ・実施日時 通年
- ・実施場所 横浜市昭和大学北部病院、神奈川県立みどり支援学校、都筑区役所
- ・従事者数 3人
- ・受益対象者 英語での通訳翻訳が必要な外国籍 のべ7件
- ・支 出 73,817円



↑病院の診察に同行する SCC の通訳サポーターと依頼者